

# 獨協医学会

会 長 稲葉 憲之 (獨協医科大学学長)

## 運 営 委 員

千種 雄一*	石光 俊彦**	阿部 七郎	石井 芳樹	板垣 昭代
片桐 一元	国分 則人	小嶋 英史	小林 哲	坂本 秀一
佐々木欣郎	白瀧 博通	杉本 博之	西山 緑	濱口 眞輔
林 啓太郎	福島 央之	宮本 雅之	緑川由紀夫	室久 俊光
森田 公夫	和氣 晃司			

\*委員長 \*\*副委員長

## Dokkyo Journal of Medical Sciences 編集委員

石光 俊彦*	白瀧 博通**	阿部 七郎	石井 芳樹
佐々木欣郎	濱口 眞輔	福島 央之	宮本 雅之

\*委員長 \*\*副委員長

## 編集事務員

松本智恵子

## 編 集 後 記

Dokkyo Journal of Medical Sciences Vol. 45, No.1 を発刊する運びとなりました。本号には原著 (英文) 4 編、症例報告 (英文) 1 編、短報 1 編 (和文) と基礎から臨床研究まで多彩な論文が合計 6 編掲載されています。論文をご投稿いただきました著者の先生はじめ、日頃より獨協医学会の活動に多大なるご支援、ご高配を賜ります関係各位、会員の皆様から御礼申し上げます。

さて論文の投稿についてですが、いかなる種別の論文を作成する場合でも、投稿先のジャーナルに最終的に公表されるまでには、持てる知力の最大限の発揮と膨大な労力が要求されることとなります。学位や専門医の取得など、どうして論文を作成するのかは個人によりその動機は異なるでしょうし、中には自発的に作成しているわけではない人もいることでしょう。自分なりに大変な苦勞をした末に、数多くの査読コメントに頭を抱えたり不採用になったりして、挫折した苦い経験を持つ方もいるかもしれません。特に若い先生の中には、このような論文作成の過程で予想外に甚大なダメージを受けてしまい、無駄な努力をしてしまったとか、自分には学術的な仕事は向いていないとか、ネガティブなイメージを持ってしまった人はいないでしょうか？

『老子』の言葉に「合抱の木も毫末より生じ、九層の台も累土より起こり、千里の行も足下より始まる (両手で抱えるほどの大木でも毛先ほどの小さな芽から成長し、九層にも及ぶ高台も小さな土を重ねることから着手し、千里の道のりも

足下の一步から始まる)」というものがあります。仮に苦勞した論文が陽の目を見なくとも、その論文が完成するまでには、方法論の吟味、結果の解釈のための思考、文章の表現の仕方や編集者とのやりとりなど、今後生きる貴重な経験を確実に積むことが出来たはずで、誰でもいきなり一流誌に掲載されるような素晴らしい研究論文はなかなか書けないでしょう。でも、めげずに取り掛かった次の論文には、きっと以前よりもはるかに成長した跡が刻まれると信じています。

近年は業績の多寡が重視される風潮であり、医学界でも論文の不正が後を絶ちません。倫理観が欠如した人間は、コンピューターを駆使して簡単に都合よくデータを捏造・改竄し、ネットで他人の論文をあっという間にコピー&ペーストで盗用してしまうでしょう。しかし、そのような研究論文は全く価値のないフィクションに過ぎないとは言ってもありません。自分の立てた仮説に反してネガティブな結果が得られたとしても、それこそが重要で確固たる真理なのです。

『科学者としての良心を忘れてはいけません。』時々、自分が大学院生になり初めて研究室にお邪魔した際に聴いた恩師 (千葉大学微生物学第Ⅱ講座 清水文七 教授) の言葉を思い出します。皆様が実直に研鑽を積まれた論文が多数掲載されて、本医学会誌が誇らしく発展していきます様、今後ともより一層のご支援・ご高配をお願い申し上げます。

(佐々木欣郎)

2018年3月20日印刷

第45巻 第1号

2018年3月25日発行

編集発行人

獨協医学会

稲葉 憲之

発行所

獨協医学会

〒321-0293 栃木県下都賀郡壬生町北小林880番地

獨協医科大学

Tel (0282) 86-1111 (内線2009)

製 作

教 文 堂

〒162-0804 東京都新宿区中里町27

Tel (03) 3260-6136